

## 31年第1回 3月 喬木村議会定例会総括

平成31年4月2日  
議員全員協議会

4月から会計年度が新年度を迎えます。6月には申し合わせによる2年任期満了による改選を控えています。つきましては、3月定例会・改選前の2年間も合わせて総括願います。

### ■ 3月定例会の総括

#### ① 【会期・日程・議会運営について】

##### 【下岡幸文議長】

- ・いつもより1週間程度長い会期としたが、予算等の議案を考慮すると自分としてはもう少し長い会期が必要。予算の成立を考えると25日位が閉会の時期。よって開会を少し早めに出来ればありがたい。議会運営はルールに従い行うもの。法律によるものと議員が決めるものとあるが、決めたことは全員が順守すべき。

##### 【木下温司議員】

- ・平成31年第1回定例会総括  
今定例会の会期、日程については概ねよかったと感じます。今議会は予算決算常任委員会が中心の当初予算審議の議会でしたので、3日間をかけて審議をしましたが、本会議報告までの期間に余裕が無く、閉会日ギリギリの午前中まで、まとめに掛かり、もう2日ほどの余裕があればと感じました。
- ・予算審議については、質疑、質問の区別、討論の中で要望を出すなどルールに沿った対応が求められる場面があり、今後議会運営の内容について理解した対応をお願いしたいと思います。

##### 【下平貢議員】

- ・概ね良かったと思う。終盤、卒業式等が続いた為、多少の調整の必要性を感じた。

##### 【後藤澄壽議員】

- ・妥当であった

##### 【櫻井登議員】

- ・議員全協にて調整され、会期、日程等、特に問題はない。会期中、取水

口予定付近と村道 52 号線の現場の状況が確認でき、状況把握の成果があった。

**【小池副議長】**

調査時間もとれ、特に問題ないかと思います。

**【東原靖雄議員】**

- ・会期は 20 日間を目安で良いです、日程は休日、夜間会議は全国町村議会議員の評価では全国的に 10%未満で担い手不足に確保できないとされているが喬木村では任期中は続けることになっている、休日、夜間を実施して夜間の抵抗もなく、昼間の時間が有効に使用できて良い。議会運営で決ったことは守り、議事進行にするべきである。

**【佐藤文彦】**

- ・会期自体は 22 日間あり良かったが、年度末ギリギリまでは家業との両立が厳しかった。

**【福澤真理子議員】**

- ・閉会が月末に近くなると、原稿を寄せていただくこと、それに伴い、議会だよりの編集が時間的にかなり厳しいことがわかった。
- ・年度末卒業式などあり、可能であれば開会がもう少し早くなるとよい。

**【中森高茂議員】**

- ・特に問題ない

**② 【調査研究の時間の確保について】**

**【下岡幸文議長】**

- ・今回、当初予算案について、一度の熟読では十分に理解できなかった。勘違いや思い込みもあり、委員会での説明で理解したものもあった。2 度 3 度と読み直し、考えるにはもう少し時間が必要だった。

**【木下温司議員】**

- ・今議会について  
議案配布から、予算審議までの時間があり、調査研究の時間の確保ができた。
- ・2 年間の総括として  
調査研究には、ある程度時間を確保することが出来た。また、喬木村の将来に向けての課題研究に取り組むため、長野、名古屋等への勉強会に参加し調査することが出来た。

**【下平貢議員】**

- ・ 充分とはいえないが確保できたと思う。

**【後藤澄壽議員】**

- ・ 十分であった。

**【櫻井登議員】**

- ・ 予算は万遍なくとはいかないので、いくつかのポイントを絞ってみた。議案を受け取ってからの時間の中で空いた時間を確保し取り組んだ。

**【佐藤文彦議員】**

- ・ 年度末は議会以外の会合も多く、今回も時間の確保には苦慮した。
- ・ 予算決算委員会までの期間が今までより長かった事は、調査・研究・確認が進み良かった。

**【福澤真理子議員】**

- ・ 時間は確保された。課題は自分の時間のかけ方であった。（わかりやすい予算書？本予算書？）

**【中森高茂議員】**

- ・ 確保が難しい状況は兼業議員の悩みである

**③ 【一般質問について】**

**【下岡幸文議長】**

- ・ 一般質問通告書の新様式が十分生かされていなかった。一回目の質問で趣旨を明確にし、二回目以降の関連質問で論戦を深めていけば聴きごたえのある一般質問になると思う。当局からの誠実な回答を求めるなら、提出期限後の変更や質問の趣旨の不透明さはあってはならないと思う。

**【木下温司議員】**

- ・ 今議会について  
少し幅も、視野も長期的な質問になったが、丁度マスコミあたりでもこうした公共施設の長寿命化や喫緊の課題、リニア、三遠南信に関する、環境、安全に対する記事が取り上げられていた時期でもあり、タイムリーであったと感じる。
- ・ 2年間の総括として  
一般質問の質問内容については、幅広い視点でインフラ、福祉、教育、産業振興など住民の要求が強い分野を中心に、各課に質問をしてきまし

た。村議選無投票の結果について、森林税活用範囲の拡大について、喬木村の知名度アップについて、公共交通と地域の足の確保について、施設を生かした観光政策について、広島平和のバス事業について、第5次喬木村総合計画の進捗状況についてなど質問を行い、公共交通の今後については地元の皆さんからの強いメッセージを頂くことが出来ました。村政全般について、政策提言できる機会として有意義であったと感じる。

**【下平貢議員】**

- ・テーマを掘り下げれば、まだまだ調査研究できたと感じた。

**【後藤澄壽議員】**

- ・「通告」前の答弁予定者との打ち合わせも必要かと思った。

**【櫻井登議員】**

- ・テーマは事前に用意し、少しずつ準備にかかっていたが、通告日直前の見直しなどに多少の時間を割いた。通告締め切り日以後の変更とあったが、答弁者に質問の趣旨を説明に行ったこと、無断かつ締切日以後であったことは事実。但し、通告内容や答弁内容に変更等の影響は一切ない。

**【小池副議長】**

- ・通告なしの質問は、要注意。誰にも分かりやすい言葉使いが大切かと思っています。

**【東原靖雄議員】**

- ・1回目の質問趣旨及び要旨、2回目の以降の関連質問趣旨に項目を分けたことは、内容がはっきり見えて傍聴者に分かりやすくなったのではないかと思います、ただ前文が長いのは聞きづらい。

**【佐藤文彦議員】**

- ・質問したい事はある、定例会前から準備は始めていたが。最終的に時間が足りず断念した。
- ・通告締め切り後の変更はルール違反だと認識する。
- ・通告した項目を質問しなかった場面もあった。答弁を聞きたかったので残念でしたが、ルールのにはどのような判断になるか確認したい。
- ・山問題に関する質問は、再確認できて良かった。

**【福澤眞理子議員】**

- ・メモ的に書いていたことを、自分の勝手な流れで、通告していない内容で質問してしまった。

**【中森高茂議員】**

- ・私の質問が提案型に至らず点の改善の必要がある

**④【事前質問・事前の意見集約について】**

**【下岡幸文議長】**

- ・今回は特に意見が異なりそうな議案はなかったと思うので、意見集約は参考にしなかったが、簡易な質問と回答は議案を理解する上で大いに役立った。

**【木下温司議員】**

- ・今議会について簡易な質問については対応することが出来た。
- ・2年間の総括としてこの意見集約については、事前に数字的な事など確認でき、それに沿った質疑ができるので、充実した議会運営になると思う。しかし、中には委員会での質疑以上になってしまい、委員会での質疑が出ない定例会もあった、事前の質問内容、委員会での質疑など精査して対応することが出来ればと思います。

**【下平貢議員】**

- ・議会がチームとして機能していく為には、手法の一つとして良いと思う。それぞれが出来る範囲内で対応していけば良いと思う。

**【後藤澄壽議員】**

- ・各自それぞれの考えに基づいて自由活発にやればよい。

**【櫻井登議員】**

- ・個人的に手段は良くなかったと反省している。システム自体に賛同していることも明言している。

**【小池副議長】**

- ・定着してきたので、まとめは大変かと思われませんが、続けてほしい。

**【東原靖雄議員】**

- ・議案、予算書が事前に配布され内容、数字が早く読み取れて良い、意見集約は事前に調査、研究ができ自分の意見を出しやすくなった。

**【佐藤文彦議員】**

- ・議案配布から事前質問提出までの日数が少なく、特に当初予算・補正で

の簡易な質問を出し切れなかった。

- ・質問締切りまでは、もう少し時間が欲しい。

#### 【福澤真理子議員】

- ・他の議員の質問は、自分が気がつかない、あるいは理解に至らない点を知ることができるように考え、参考にできればよい。簡単な質問、の範囲で迷う。事前に聞いたことについて、まったく同じことを聞くことはしないと思う。同じ質問をしない、など、後の活動を縛ることはない方がよい。

### ⑤【予算決算常任委員会について】

#### 【下岡幸文議長】

- ・説明する課や担当者によって、すべての事業を説明したり、新規・見直し・拡充の事業に絞ったり、ばらばらな印象があった。次回からは村としての重点施策を丁寧に説明願いたい。

#### 【木下温司議員】

- ・今議会について  
今議会の予算審議は2日間、説明と質疑、1日討論、採決を行いました。予算書等に誤り等があり、正確な書類の提出が求められた。討論で修正動議が出されたが、修正には減額修正。増額修正があり、増額修正については書類提出と議員間の同意が必要で今回は議決には至らなかった。
- ・2年間の総括として  
2年間委員長として予算決算常任委員会の運営を行ってきました。この間8回の委員会が行われましたが、概ね順調な審議ができたものと思っています。一番印象に残っているのは、防災センターで行われた夜間議会最初の予算決算常任委員会、多くの報道陣がいる中緊張した委員会でした。

#### 【下平貢議員】

- ・質問のタイミングが合わず、発言できなかったこと、反省しています。

#### 【後藤澄壽議員】

- ・妥当であった。

#### 【櫻井登議員】

- ・予算書を重点に見てから、わかりやすい予算書の関連ページに目を通した。わかりやすい予算書は概要なので、予算書中心とした。

**【小池副議長】**

- ・質問の回答が、わかりやすく良かった。

**【東原靖雄議員】**

- ・予算書はP-ジ的にも多く、款、項、目の説明になるが、まずp-ジを先にしてもらいたい

**【佐藤文彦議員】**

- ・予算全体の増減について、もう少し突っ込んだ質疑をするべきだった。(補正で議員からの質問が無かった為か、村長側からわざわざ追加の説明を頂いた。本来、あの部分は議員から質問するべきだった)
- ・毎回のことだが、質疑の議事録を作成する時間に苦慮する。特に今回は委員会から本会議閉会まで4日しかなく、この間仕事も出来ず、丸々費やした。厳しかった。

**【福澤真理子議員】**

- ・調査研究に時間的余裕があることはよい。自分の取り組み方の問題。(わかり易い予算書、本予算書)
- ・本会議の採決で、反対ではないが、意見(要望)を付け加えることはダメなのか? 質疑は委員会の委員長報告に対する質疑なので、することはなかったが、採決に際しては、反対ではないが一言申し上げたいことがあった。言っていないものか判断つかなかったので、発言しなかったが。条件付き賛成は許されない、ない?

**【中森高茂議員】**

- ・十分な審議が行われた

**⑥【総務産業建設常任委員会について】**

**【下岡幸文議長】**

- ・例えばガイドウェイ跡地利用構想について、住民のからの意見聴取に加え、他にどのような調査が必要かの論議を聞いたかった。

**【木下温司議員】**

- ・今議会について  
委員会が違いますので、詳細は分かりませんが、特に問題はなかったと思います。
- ・2年間の総括として  
委員会が違うので特に感じることはなかったが、委員長の大変さを感じた。

#### 【下平貢議員】

- ・付託が1件ということもあり、委員会としてテーマを設け調査研究の時間とした。それぞれの意見聴取出来たことは良かった。今後も継続的に調査を深めていきたい。

#### 【後藤澄壽議員】

- ・妥当であった。

#### 【小池副議長】

- ・短時間であったが、良かった。研修内容は良かったが、提案内容について、委員長一人では大変ではないか。委員全員にての提案が必要では。

#### 【東原靖雄議員】

- ・案件が少ないことから、現地調査検討が出来、委員会がスナリ流れた、

#### 【佐藤文彦議員】

- ・委員で無い為、質問の機会は開会日しかない。議案配布から意見集約締切りまでに現調をし、質問することも時間的に難しい。その為、討論の場での発言になってしまい、誤解を招いてしまったことを反省する。

### ⑦【社会文教常任委員会について】

#### 【下岡幸文議長】

- ・保育所のあり方についての協議で、統合保育園の建設候補地の視察をしたほうがよかったかも。

#### 【木下温司議員】

- ・今議会について  
今議会は付託議案が無かったため、勉強会が中心でしたが、多くの課題について勉強することが出来た。
- ・2年間の総括として  
福祉・教育と幅広い分野について議論する中で、国の様々な施策の変更などに翻弄された委員会でした。社会保障など、また教育環境の大幅な改革、教育現場、福祉現場での対応の大変さを直に感じる委員会でした。

#### 【櫻井登議員】

- ・付託議案はなかったが、勉強会ができた。今後のスケジュールを消化できるように取組むことが良い。

#### 【佐藤文彦議員】

- ・付託議案はなく、学習会になったが、内容も良く傍聴者からも好評だった。

#### 【福澤真理子議員】

- ・付託議案がなかった。学習をおこなった。

#### 【中森高茂議員】

- ・保育所建設問題については多くの質問が出された
- ・幼児教育無償化問題は今後の推移を注視していくための基礎は学べた

#### 【全員協議会・議員全員協議会について】

##### 【下岡幸文議長】

- ・議員全員協議会の主な目的は、議会運営に関する協議と村政の諸課題についての勉強会や意見交換だと思いが、現状は勉強や研修が少ない。会議の効率化を検討すべきと思う。

##### 【木下温司議員】

- ・全員協議会については、広域等の動きを感じる事が出来大変有効でした。
- ・議員全員協議会については委員会の進行と内容把握に疑問を感じる部分があった。また議員間の検討する課題についての議論の位置づけが乏しかった。今後の活用が重要。

##### 【下平貢議員】

- ・リニア、三遠南信関連事業が大きく動き出す重要な年となる。広域連合からも注視すべき案件も提示された。議会としても事業の進捗に注視していかなければならない。と感じた。

議員の発言は、公人である限り、時として大きな影響を及ぼす。住民の意見を真摯に受け止める強さも大切だと思う。個人的にはなかなか出来ていないかもしれないが、反省すべきは反省し、改善すべきは改善するよう努めることが大切では。と感じた。

##### 【後藤澄壽議員】

- ・妥当であった

##### 【櫻井登議員】

- ・報告、スケジュールは重要。毎月、例会として定着している。

**【福澤眞理子議員】**

- ・ 予め追加議案の説明を受けられたのはよい。

**■ 提案事項**

6月定例会は改選により新体制によるスタートとなります。2年間の総括と改善事項・提案事項があれば記入願います。

必要に応じて項目を加えてご意見いただければ幸いです

**【木下温司議員】**

- ・ 今後は全国に認知されつつある喬木村の議会改革が、住民福祉にどう結び付けていけるかが課題となると思います。そして、2年後の改選時に議員のなり手不足に結果が表れるかが問われると思います。

**① 【会期・日程について】**

**【下岡幸文議長】**

- ・ 議案が出揃うのを待って、定例会を開くと、一か月ほどの会期中で、充分議案を調査理解し、結論を出さなければならない。よって定例会の月は忙しい。重い議決責任を果たすためには、議会活動の平準化が必要と思う。例えば、議案審議を一週間の会期で行い、それを毎月行うほうが負担は少ないし、対応の遅れがないように思う。

**【木下温司議員】**

- ・ 現状と大きく変える必要はないと思うが、今後通年議会等を検討する上で変化もあると思う。ただ、通年であろうと現状の議会運営であろうと議会だけの考えで運営できるわけではなく、行政との日程調整など、ルールのもとに運営される議会であり、会期日程は其の都度設定されることが望ましい。

**【後藤澄壽議員】**

- ・ 現状でよい

**【櫻井登議員】**

- ・ 現在の調整作業を続行する。

**【小池副議長】**

- ・ 閉会の日が、あまり遅いと議会だよりの編集には大変かと思われる。

**【佐藤文彦議員】**

- ・ 議会改革特別委員会で検討しており、内容が重複しますが、示された会

議日程については、会期も十分取れており良いと思います。ただ、9月は決算議会ですが、事前質問までの期間が短い為、予算決算に関する質問は別の締切日を設けるか、追加質問を受け付けるなど対策が必要だと考えます。

**【福澤真理子議員】**

- ・会期は今まで通りでよい。日程はできるだけ早くに予定が立つとよいが最終的には理事者の都合が優先されると思う。

**②【全員協議会・議員全員協議会について】**

**【下岡幸文議長】**

- ・全員協議会は村当局との情報共有、意見調整の場、議員全員協議会は議員の勉強と意見交換の場と考え、議員全員協議会は月一回では目的が果たせないと感じる。もう一日夜間の2時間の開催を望む。

**【木下温司議員】**

- ・全員協議会は広域の情報、各課の動きを知る上で大切。議員全員協議会は、議員間の議論を深める上で大切な機会ととらえる。

**【後藤澄壽議員】**

- ・現状でよい

**【櫻井登議員】**

- ・都度、発生したことを議題として取組む。

**【東原靖雄議員】**

- ・今までどおりで良い

**【佐藤文彦議員】**

- ・申し送り事項には、「議員の主体的な協議体であるが、協議内容は議会運営委員会で決定し、副議長が会議資料を作成し、会議を進行する。」とありますが、会議資料を作成しているような進行とは思えません。進行が内容を理解せずに、こちらに意見を求められても答えようもありません。議運以外の議員は詳細な内容を知らずに協議に入ります。だからこそ進行は重要だと思い、2年間言い続けてきました。改善される事を願います。

**【福澤真理子議員】**

- ・毎月開催の今の方法でよい。一日にまとめて行えるのは、回数招集されるよりよい。区会との関係で、情報を得る機会の課題は解決したか？

### ③【特別委員会について】

#### 【下岡幸文議長】

- ・特別委員会は設置や活動の目的、期間、運営方法の見直し等を行い、あり方を再検討する必要があると思う。活動の目的によっては議員全員が参加する議員全員協議会への移行も検討すべきと思う。

#### 【木下温司議員】

- ・議員全協、政策提言など意見集約など集中して議論できる場が必要。今後委員会の役割が、ますます必要と感じる。特に住民との対話の機会を持つ、広聴委員会は年間を通じて対応していかなくてはならず、告知等のタイミングなど、常に気配りが必要。通知、日程、テーマ等の確認、実施、報告書の作成など年間を通じた作業があり、仕事量は膨大です。
- ・議会災害対策（BCP）特別委員会、リニア・三遠南信特別委員会、政策提言特別委員会など、設置された委員会活動が機能していない部分もあり今後の検討が必要と感じる。

#### 【後藤澄壽議員】

- ・現状でよい

#### 【櫻井登議員】

- ・必要上、各種特別委員会が設置されてきたが、増え過ぎて正副委員長の他とのかぶる負担はないか。

#### 【小池副議長】

- ・広聴広報特別委員会については、二つに分けての委員会構成が、妥当と思われます。年間通じての委員会なので、常任委員会とするのが良いのではないか。委員会が多い。リニア三遠南信対策特別委員会については、必要時に議員全協に取り上げていけば良いのでは。

#### 【佐藤文彦議員】

- ・広報公聴委員会については、特別委員会という形のままで良いと思います。特別委員会の任期については設置要綱に準じる。

#### 【福澤真理子議員】

- ・ほとんど開かれていないものもあるのではないか。常時必要な委員会は常任委員会とする？

#### ④ 例：【研修会・勉強会の実施について】

##### 【下岡幸文議長】

- ・ 政務情報や月刊誌の地方議会人、各種データなど読まなければならない文書は多い。外部講師や村職員による研修会府も良いが、各議員が講師となって、いろいろな情報や個人の考えについて発表・討議するのも、プレゼン能力の向上や多様な意見の理解に役立つと思う。

##### 【木下温司議員】

- ・ ICT 機器の研修会、通年議会についての議員研修など、将来に向けた研修は議員の知識と質を高める上で重要。今後できるだけ多くの内容で研修及び勉強会の機会を持てればと感じます。

##### 【後藤澄壽議員】

- ・ 研修会・勉強会は必要に応じて随時やっていけばよい。

##### 【櫻井登議員】

- ・ 適時に開催を。

##### 【小池副議長】

- ・ 常任委員会の中での、研修会が必要かと思われます。

##### 【東原靖雄議員】

- ・ 国、県に要望している県道上飯田線小川～氏乗区間のトンネルで検討されてきているが、小川バイパスから上平 1-5 号線との高低差が大きく、上飯田線を 1 本の線形にするには難しく、幾つかのルートでの検討の必要と思われるので、ルート、勾配等の研修会、勉強会を行っていかないとされる。

##### 【佐藤文彦議員】

- ・ 研修会、勉強会については、まだ、内容までの発想はありません。目の前の課題に一つ一つ取り組んでいくことに集中したい。ただ、昨年参加した早稲田大学マニフェスト研修会には引き続き参加をしたいと考えています。

#### ⑤ 【現場視察の検討会など】

##### 【櫻井登議員】

- ・ 先日の現場視察において、視察の考察や検討が必要ではないかと感じた。52 号線の現場視察については、太陽光パネル設置の事前に設置届けなど申請があると思われるが（農地ならば、農業委員会に転用申請など）その

際に崩落防止策として、申請者または地権者と行政が協議できなかったのかと感じた。あの状況下では工事の難航が懸念され、費用も嵩むし工期も長くなるのではと素人判断では考えてしまう。協議があったのか、なかったのか疑問。

現場視察の考察や検討が今後の課題となってくると考える。全ての視察等の後に検討会開催の必要性を感じる。